

日本光学会平成 18 年度第 179 回幹事会議事録

日 時： 2006 年 9 月 19 日(火) 13:30~17:40

場 所： 応用物理学会会議室

参加者： 伊東幹事長，他 33 名

議 事：

1. 平成 18 年度第 1 回常任幹事会議事録の確認

- ・平成 18 年度第 1 回常任幹事会議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・発刊作業進捗が報告された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文状況が示され，海外からの投稿数が増加していることが報告された。
- ・OR の Web 論文投稿および審査システムについては，現在準備中であるとの報告があった。

2-2. 出版委員会関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・OR オンライン版用サイトライセンス増に伴い，OR アクセス数も増加傾向にあることが報告された。
- ・2006 年 OR 広報，投稿勧誘用のチラシの修正版を作成したとの報告があった。

2-3. 講演会関連報告

(1) 第 31 回光学シンポジウム収支報告

- ・概算の収支報告がなされた。最終収支報告は次回幹事会で行う。

(2) 第 40 回サマーセミナー結果報告

- ・収支報告がなされた。参加人数は講師等を含め 62 名で，盛況であったとの報告があった。

(3) 第 2 回光応用新産業創出フォーラム結果報告

- ・収支報告がなされた。参加人数は 84 名で，産学官連携推進事業を広報し，意見を伺う良い機会となったとの報告があった。

(4) Optics & Photonics Japan 2006 進捗報告

- ・OPJ 2006 講演申し込み件数の報告があり，カテゴリーまでのプログラムが確定したことの報告があった。
- ・OPJ 2006 展示会申込状況，協賛学協会依頼状況，会告掲載依頼状況が報告された。

(5) カラーフォーラム JAPAN 2006 進捗報告

- ・プログラムが確定し，順調な進捗であるとの報告があった。

(6) 平成 18 年度北陸信越講演会(信越) 進捗報告

- ・テーマとプログラムが確定。順調な進捗との報告があった。

(7) 平成 18 年度北陸信越講演会(北陸) 進捗報告

- ・「視覚情報と認知」と題し，プログラムも確定。順調な進捗であるとの報告があった。

(8) 電気関係学会北陸支部連合大会への参加申請

- ・日本光学会北陸地区の，電気関係学会北陸支部連合大会への参加が承認された。

(9) 第 33 回冬期講習会進捗報告

- ・講師の人選がほぼ完了し，順調な進捗であるとの報告があった。

(10) 光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・テーマおよび講師が確定し，順調な進捗であるとの報告があった。

(11) 平成 18 年度関西講演会進捗報告

- ・テーマと講師が確定し，順調な進捗であるとの報告があった。

(12) 北海道講演会進捗報告

- ・開催日時および場所が決定し，順調な進捗であるとの報告があった。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・11 件の協賛依頼について承認された。

(2) 会員動静について

- ・大きな会員数の変動はないことが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・平成 18 年 1 月 1 日から 8 月 31 日の収支計算書が示された。

(4) 奨励賞および光学論文賞関連

- ・光学奨励賞候補者について報告があった。
- ・光学論文賞受賞候補者の募集について，進捗状況があった。

(5) 会員制度委員会報告

- ・日本光学会フェロー選出が提案され，承認された。

(6) 500 人会員増委員会報告

- ・進捗状況および会員勧誘の特典(案)について報告があった。

(7) 事務局改善報告

- ・日本光学会メーリングリストについて運用方法の変更と，それに伴う内規の改定が承認された。

(8) JJAP 広報協力について

- ・JJAP 投稿勧誘用ポスターが配布され、各職場で掲示するよう要請があった。

3. 審議事項

(1) 第 32 回光学シンポジウム企画案

- ・第 32 回光学シンポジウム開催要項(案)が示された。
- ・光学シンポジウムの案内目的で、日本光学会ホームページへの掲載とメーリングリストの使用が承認された。

(2) 予算案審議

- ・平成 17 年度予算をベースとし、実績に合わせた平成 19 年度予算(案)が示され、承認された。

(3) 韓国光学会 (OSK) との協力関係について

- ・日本光学会主催の学術会議において、MOU を締結している韓国光学会 (OSK) が参加できるような企画(例: 英語セッション)の検討が承認された。

(4) 次期幹事案(幹事会推薦候補)について

- ・「光学」にて平成 19 年度幹事立候補者の募集を行ったが、立候補者はいなかったことが報告された。
- ・地区、企業、研究グループ、幹事長から新任(再選)幹事推薦候補者が提案され、承認された。

(5) 入会登録について

- ・イベント会場での入会登録に対しては、イベント実行委員長が紹介者となることが承認された。

(6) 光学会ホームページ改善について

- ・ホームページリニューアルの内容と進捗状況が報告された。
- ・応用物理学会サーバーへの ID とパスワードの発行申請が承認された。

(7) ロゴの商標登録について

- ・ロゴマーク制作依頼会社の調査結果が示された。
- ・制作したロゴの商標登録化については、継続審議となった。

平成 18 年度第 2 回常任幹事会

2006 年 11 月 17 日(金)に、日本光学会資料室において開催されました。「OR」編集報告ならびに出版報告、第 31 回光学シンポジウム収支報告、第 2 回光応用新産業創出フォーラム収支報告、Optics & Photonics Japan 2006 結果報告(速報)、北陸信越講演会結果報告がなされました。また、第 33 回冬期講習会、名古屋講演会、光学五学会関西支部連合講演会、関西講演会、第 32 回光学シンポジウムの進捗報告がありました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、光学論文賞進捗報告、OJBP 賞結果報告、会員制度委員会報告、500 人会員増委員会報告、2007

年予算報告、事務局改善報告がなされました。さらに、Optics & Photonics Japan 2007 企画案、光学会ホームページ改善、光学会ロゴ、USB キー管理規則、入会登録、応用物理学会将来ビジョン・アカデミックロードマップ、応用物理学会 75 周年記念事業について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 36 巻第 3 号に掲載予定です。

臨時「光学」編集委員会

2006 年 11 月 10 日(金)に、学術総合センター(一橋記念講堂 2 階貴賓室)において開催されました。第 36 巻第 8 号の継続審議事項の議論、「光学」への書評掲載に関する議論、タイムリーな特集の前倒し掲載についての議論、「光学」の表紙についての議論がなされました。

第 230 回「光学」編集委員会

2006 年 11 月 24 日(金)に、応用物理学会会議室において開催されました。第 36 巻第 8, 9 号の企画決定、第 36 巻第 10, 11 号、第 37 巻第 4 号の第二次構想案、第 36 巻第 12 号、第 37 巻第 1 号の第一次構想案の審議、第 37 巻第 2, 3 号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議事項を経て、論文投稿・審査状況についての報告、会計の報告がなされました。

第 32 回光学シンポジウム講演募集

期 日：2007 年 7 月 5 日(木)、6 日(金)

場 所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール
(東京都目黒区駒場 4-6-1)

主 催：日本光学会

講演方法および時間：基本的に口頭講演のみ、発表 20 分(質疑応答 5 分含む)。プログラム編成の都合によりポスターセッションへ変更をお願いする場合があります。

応募資格：日本光学会(入会予定含む)、応用物理学会、SPIE、OSK、協賛学協会会員

応募方法：以下の内容を電子メールにてお送りください。
題目、氏名(登壇者には○を付ける)、所属機関名、英文題目、英文氏名、所属機関英文名、アブストラクト(200 字以内)、連絡先(郵便番号、住所、氏名、E-mail、電話、Fax)。

応募締切：2007 年 3 月 9 日(金) 必着

予稿締切：2007 年 4 月 27 日(金) 必着

応募・問合せ先：〒243-0460 海老名市下今泉 810

(株)リコー 画像エンジン開発本部モジュール開発セ

ンター光学 Md 開発室 板橋彰久

電話 046-292-5792 Fax 046-231-9047

E-mail: optsymbo32@kind.ocn.ne.jp

詳細は第 35 巻第 12 号の綴じ込み案内、または日本光学会ホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>) をご覧ください。

第 13 回光集積回路欧州会議 (13th European Conference on Integrated Optics: ECIO'07)

光集積回路 (モノリシックおよびハイブリッド) と導波型光デバイス (受動, 能動, 非線形光学, フォトニック結晶など) の材料, モデリング, 作製および応用に関する論文発表と討論, 展示会並行開催。詳しくはホームページ (<http://www.ecio2007.dk/>) をご覧ください。

期 日: 2007 年 4 月 25 日 (水)~27 日 (金)

場 所: Technical University of Denmark (DTU), Copenhagen, Denmark

主 催: ECIO 実行委員会

国内問合せ先: 大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻 栖原敏明

電話 06-6879-7771 Fax 06-6879-7793

E-mail: suhara@eei.eng.osaka-u.ac.jp

「光学系基礎理論」技術講座

本技術講座は、これから光学系を取り扱ったり、設計する仕事に携わろうとする初心者のために、近軸理論を中心にした光学系の基礎理論を、体系的に理解してもらうことを目的として開催するものです。とくに、収差論を学ぼうと考えておられる方々は、近軸理論についての理解が前段階として必要ですので、この機会にぜひ本技術講座を受講されるようおすすめします。収差論の理解が一段と深まると考えます。

日 時: 2007 年 2 月 1 日, 8 日, 15 日, 22 日, 3 月 1 日, 8 日 (計 6 日, すべて木曜日), 各回 13:30~17:00

場 所: 機械振興会館地下 3 階 2 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

講 師: 荒木敬介氏 (キヤノン)

主 催: (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会

参加費: 1 名につき, 一般 91,770 円, 正会員 66,360 円, 賛助会員・協賛 74,445 円 (テキスト代・消費税を含む)

申込期限: 2007 年 1 月 25 日 (木)

問合せ先: (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

「プロジェクトン光学系および光学部品の最新技術動向」セミナー

ディスプレイの大画面, 高精細化の流れのなかで, プロジェクトンディスプレイはフラットパネルより比較的低コスト, 低消費電力で大画面が得られやすい特徴を發揮して存在価値をアピールしています。また一方で, ポケットプロジェクターなどの超小型化も新たな市場展開が期待されています。このような進展の続くプロジェクトンディスプレイにおいて, 本セミナーでは光学系および光学部品にフォーカスして最新の技術動向を展望します。関連技術者およびご興味のある方の積極的な参加を期待します。

日 時: 2007 年 2 月 16 日 (金) 10:00~17:50

場 所: 機械振興会館 6 階 67 号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)

主 催: (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛: 日本光学会, (社)映像情報メディア学会 (順不同)

プログラム: プロジェクター概論の技術動向, プロジェクター向け光学製品の市場, プロジェクター光学系の設計と部品技術, 高解像度プロジェクター用 LCOS 光学系について, リアプロジェクター用超広角投影光学系, 高出力赤色半導体レーザーのリアプロ光源への応用

参加費: 1 名につき, 一般 25,515 円, 正会員 15,330 円, 賛助会員・協賛 19,425 円, 学生 4,095 円 (テキスト代・消費税を含む)

申込期限: 2007 年 2 月 9 日 (金)

問合せ先: (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@mssl.rdc.toshiba.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成18年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	笹木 敬司* (北海道大)
副幹事長：	立野 公男* (日立)	
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事：	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事：	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事：	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事：	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キヤノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
	田代 発造 (富山大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	西澤 典彦 (名古屋大)	和田 健司 (大阪府立大)
	岩田 哲郎 (徳島大)	入江 正浩 (九州大)